

新まんなかビジョン

～まんなかで日本をリードする中部へ～



平成21年7月

国土交通広域連携中部会議 フォローアップ会議

新まんなかビジョンとは

社会資本分野における中部地方の概ね10~20年後を見据えた
具体的な目標と、平成24年度までの重点戦略と目標を示したビジョン

[計画策定の背景]

<時代の潮流>

- ・本格的な人口減少時代の到来
- ・急速な高齢化の進展
- ・情報通信技術の飛躍的な発展
- ・グローバル化と世界経済の動勢
- ・価値観の多様化

<回避すべき社会問題>

- ・地球温暖化、自然災害の多発
- ・自然環境・生活環境の悪化
- ・交通機能麻痺による経済活動停滞
- ・水不足やエネルギー、食料危機
- ・産業競争力の減退
- ・国土マインドの低下
- ・地域コミュニティの衰退
- ・地域間格差の拡大
- ・既存の社会資本の老朽化

<中部地方の特性>

- 日本のまんなか
 - ・地勢的に国土の中央に位置
 - ・国内の東西交通の要衝
- 卓越した産業集積
- 自然災害に脆弱な地域
 - ・我が国最大のゼロメートル地帯
 - ・日本有数の多雨地帯、豪雪地帯
 - ・自然災害が危惧される地形地質
 - ・大規模地震発生への危惧
 - ・渴水が頻発しやすい地域
- 豊富な自然・文化・歴史・産業資源
- 多極分散型の地域構造
- 自動車交通への依存が高い

<中部地方が果たすべき

責務と期待される役割>

- 日本のまんなかに位置する地域としての交流・連携強化
- 卓越したものづくり産業を基軸とした我が国経済の牽引
- 環境先進地域への挑戦

中部地方の課題

- 東海地震、東南海・南海地震等の巨大地震の発生や集中豪雨、台風による水害等への対応
- 日本の大動脈を担う中部地方ゆえに、大規模災害による経済活動の停滞懸念への対応
- 活発な経済活動による負の遺産ともいえる様々な環境問題への対応
- 渴水による水不足や、エネルギー危機への対応
- 地域の活力衰退と地域間格差の拡大への対応
- 社会の成熟化に伴うライフスタイルニーズの多様化への対応
- 地域経済の早期回復と活況化への対応

10~20年後を見据えた中部地方の将来像

「まんなかで日本をリードする中部」の形成を目指す

- ①地勢的社会経済的な「まんなか」を活かし、国内外の都市・地域と相互に交流・連携し、
産業競争力の持続的な発展により、我が国の経済を牽引
- ②環境先進地域として国内外を先導し、世界水準の信頼を確立
- ③価値観の多様化に対応した成熟社会にふさわしい暮らしを実践できる地域

中部地方の将来像を実現するため、7つの基本スタンス(①成果重視、②効率性重視、③技術力・技術開発、④新たな協働、⑤既存ストックの徹底的活用・長寿命化、⑥ユニバーサルデザイン、⑦ICTの活用)のもと、「5つの目指すべき地域づくりの方向」、「25の具体的目標」を設定し、様々な地域の役割と発展を重視し、中部地方を、9つの地域に分け、各地域が各種プロジェクトを推進するとともに各地域の連携と融合により、中部らしさを活かした世界に誇れる中部の創造を目指します。

中部らしさを活かした世界に誇れる中部の創造を目指します!

～目指すべき地域づくりの方向と具体的な目標を設定～

	目指すべき地域づくりの方向	具体的な目標
【交流・連携】	<p>交流が活発な中部</p> <p>日本のまんなかである地理的優位性を活かし、さらなる都市の魅力向上と中山間地域や農産漁村の地域力向上により、地域間格差を是正するとともに、国内外の交流拡大と中部の国際的な魅力向上を可能とする交流・連携が活発な中部を形成するため</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国内外との交通ネットワークが強化・円滑化された地域 ○国内外の人・モノ・情報の交流が活発で賑わいある地域 ○地域資源を活かした魅力ある、各地域の自立を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ①人・モノ・情報の交流を拡大・活発化します ②社会基盤整備で都市機能を高度化し、各地域の自立を促します ③中山間地や農山漁村の地域力を向上し、各地域の自立を促します ④独自の地域資源を活用し、観光など地域の魅力を向上します
【産業競争力】	<p>活力ある中部</p> <p>ものづくり産業のさらなる発展とともに、優れた技術、人材、知能、産業をより集積することで、強い産業競争力で日本をリードする中部を形成するため</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域内及び国内外との陸・海・空の高速交通ネットワークが強化・円滑化された地域 ○国際的な交通基盤、物流拠点、生産・研究基盤が整った地域 ○産業活動に不可欠な水を安定して確保できる地域 <p>を目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①港湾・空港の機能を強化し、世界的に優れた国際物流ネットワークを形成します ②国内交通ネットワークを強化し、スムーズな移動を可能にします ③陸・海・空が一体となった高度な物流システムを構築します ④ものづくりに不可欠な水の安定確保を図ります
【環境・景観】	<p>自然と共生する中部</p> <p>美しく豊かな自然や文化・歴史資源を活かし、環境をテーマとした「愛・地球博」の理念を継承した環境先進地域として、環境と共生する中部を形成するため</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地球温暖化対策を含む循環型社会が構築された地域 ○流域圏が一体的に環境保全された地域 ○自然や生物と共生した地域 ○景観が保全・創出された地域 <p>を目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①地球温暖化を抑制するため温室効果ガスの削減を推進します ②大気環境の改善やヒートアイランドの抑制を支援します ③騒音・振動などの生活環境を改善します ④ごみの発生抑制・循環型社会の構築を支援します ⑤美しい自然環境を保全・創出し、多様な生態系などを維持・再生します ⑥健全な水循環系を構築し、持続可能な環境を創出します ⑦独自の地域資源を保全・再生・活用した魅力ある景観を創出します
【暮らし】	<p>愛着の持てる中部</p> <p>多様化するライフスタイルと人口減少、少子化、高齢化に対応し誰もがどこでも活き活きと快適に暮らせる中部を形成するため</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全で子育てしやすい地域 ○快適で住みやすい住環境を有する地域 ○誇りと愛着が持てる地域 <p>を目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①子供がのびのびと安全に成長できる社会の実現を目指します ②ユビキタスネットワーク社会に対応した情報提供を進めます ③快適で安全に暮らせる生活圏の実現を目指します ④安全で住みやすい居住環境の実現を目指します ⑤誇りや愛着を持てる協働・参加型の地域づくりを支援します
【安全・安心】	<p>災害に強い中部</p> <p>人口減少下においても、社会活動の礎となる安全で安心な中部を形成するため</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害を克服するための対策の実施により被害を最小限に留め社会活動を継続できる地域 ○災害時の避難・救助及び復旧・復興を迅速かつ円滑にできる地域 ○既存の社会資本の安全性を持続できる地域 <p>を目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①洪水・土砂災害・高潮、雪害などや渴水に強い地域を構築します ②大規模地震にも強い地域を構築します ③様々な災害でも寸断されることのない交通体系等を構築します ④災害・事故に係る情報提供や災害対応体制を強化します ⑤既存の社会資本ストック機能を持続させます

9つの地域の役割と発展を重視した、相互連携による地域づくりの方向

様々な地域の役割と発展を重視し、中部地方を県境を越え山から海までを繋ぐ河川流域や古(いにしえ)から街道で繋がる9つの地域に分け、各地域が強みを活かし弱みを克服するための各種プロジェクトを推進するとともに、各地域の連携と融合を図ります。

①駿河湾沿岸から長野県東部を結ぶ地域

【地域の概要】

- ・長野県境に源を発し、山梨県を上流域に持つ富士川の他、興津川、安倍川、大井川などの流域。
- ・古くは、静岡県中部(駿河)から甲州へ塩などの物資を運ぶ富士川街道で結ばれた地域であり、佐久甲州街道で信州佐久を結ぶ地域一帯。日本を横断する地域。

⑤東海と近畿を結ぶ地域

【地域の概要】

- ・古くは、近畿(朝廷のあった畿内)と東海地方(伊勢や尾張、美濃など)が七道駅路で結ばれ、その後、鎌倉街道、徳川家康の五街道(東海道)へと変遷する東西の大動脈で結ばれた地域。
- ・2008年2月には、新名神高速道路が一部開通し、新たな交流が育まれる地域。

⑥伊勢湾・三河湾流域

【地域の概要】

- ・伊勢湾・三河湾に注ぐ流域圏、伊勢湾・三河湾沿岸地域。

②南信から三遠を結ぶ地域

【地域の概要】

- ・諏訪湖から遠州灘に注ぐ天竜川の他、豊川の流域一帯。
- ・古くは、静岡県西部(遠州)や愛知県三河から信州(塩尻)への「塩の道」(伊那街道・秋葉街道)で結ばれた地域。

③名古屋都市圏一帯を取り巻く地域

【地域の概要】

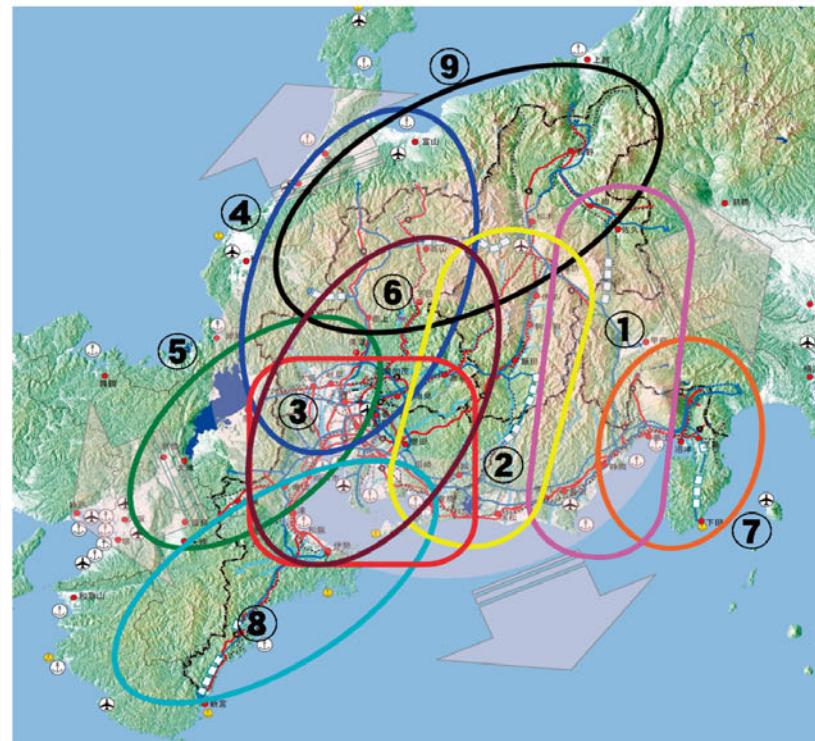
- ・名古屋を中心とする東海三県にわたる経済圏域。(愛知、岐阜南部、三重北中部)

④東海と北陸を結ぶ地域

【地域の概要】

- ・岐阜県高山市に源を発し、太平洋に注ぐ河川(飛騨川～木曽川、長良川)と日本海に注ぐ河川(神通川、庄川)の流域一帯。
- ・2008年7月に太平洋沿岸と日本海沿岸とを直結する東海北陸自動車道が全通し、新たな交流が育まれる地域。

中部地方の各地域



⑦富士山麓と伊豆半島、丹沢周辺を結ぶ地域

【地域の概要】

- ・富士山をはじめ箱根・伊豆など自然景勝地や温泉資源に恵まれ、古くから保養地や観光地、別荘地として発展してきた地域一帯。
- ・富士箱根伊豆国立公園に指定された地域一帯。

⑧伊勢と紀伊半島中南部を結ぶ地域

【地域の概要】

- ・古くは、熊野那智大社など熊野三山がある熊野と、伊勢神宮のある伊勢が世界遺産に登録された熊野古道(伊勢路)で結ばれた地域。
- ・また熊野古道により、紀伊や大和(和歌山・奈良県)とも結ばれた地域。

⑨長野と飛騨、北陸沿岸を結ぶ地域

【地域の概要】

- ・古くは、富山湾の鰯を高山～信州(松本)へ運ぶ「ブリ街道」(飛騨街道～野麦街道)と、糸魚川河口から信州(塩尻)へ塩を運ぶ「塩の道」(千国街道～松本街道)で結ばれた地域。
- ・信濃川～千曲川流域で新潟とも結ばれる地域。

10~20年を見据えた中部地方の主なプロジェクト〔抜粋〕

- 1 東海北陸自動車道(郡上八幡～ぎふ大和、白鳥～飛騨清見) (4車線化)
- 2 横山ダム再開発事業
- 3 木曽川水系連絡導水路
- 4 木曽川水系の治水対策
- 5 国営木曽三川公園
- 6 庄内川水系の治水対策
- 7 東海ネーデルランド高潮・洪水対策
- 8 東海環状自動車道(一般国道475号)(西部区間)(関広見～四日市北)
- 9 名古屋環状2号線(名古屋南～高針、名古屋西～飛島)
- 10 伊勢湾スーパー中枢港湾プロジェクト
- 11 近畿自動車道名古屋神戸線(新名神高速道路)(四日市～亀山西)
- 12 中部国際空港の国際競争力強化
- 13 海岸高潮対策事業(津松阪港海岸)
- 14 川上ダム、上野遊水地
- 15 伊勢湾再生プロジェクトの推進



平成24年度までの重点戦略と目標（社会資本の重点整備方針）

スピード感ある集中投資を図る「選択と集中」により
効率的かつ効果的な事業を推進！

I. ものづくりをはじめ国際的に強い産業競争力ある地域づくり

- ① 港湾・空港の機能を強化し、世界的に優れた国際物流ネットワークを形成
- ② 国内交通網の強化でスムーズな移動を可能にするとともに、高度な物流システムを構築
- ③ ものづくりに不可欠な水などの安定確保を図る

〔事例〕

【指標】中部の外貿コンテナ貨物量の増加率：年平均伸び率3% 等

【主要事業】国際海上コンテナターミナル整備事業：

名古屋港飛島ふ頭南地区（愛知県飛島村）、
四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区（三重県四日市市） 等



名古屋港コンテナターミナル

II. 災害に強い安全で安心な地域づくり

- ① 洪水・土砂災害・高潮、雪害などや渴水に強い地域を構築
- ② 大規模な地震にも強い地域を構築
- ③ 災害でも寸断されない交通体系等の構築と、災害対応体制や情報提供を強化
- ④ 既存の社会資本ストック機能を持続

〔事例〕

【指標】洪水による氾濫から守られる区域の割合：62%（H19）→64%（H24） 等

【主要事業】東海ネーデルランド高潮・洪水対策（愛知県・岐阜県・三重県）

床上浸水対策特別緊急事業：宮川（三重県伊勢市）H22年度完成 等



被害状況(伊勢市辻久留)

III. 地域資源を活かし自然と共生する環境先進地域づくり

- ① 温室効果ガスの削減や生活環境を改善するとともに、循環型社会の構築を支援
- ② 美しい自然環境を保全・創出し、多様な生態系を維持・再生
- ③ 健全な水循環系を構築し、持続可能な環境を創出
- ④ 独自の地域資源を保全・再生・活用した魅力ある景観を創出

〔事例〕

【指標】水辺の再生の割合：約10%（H19）→約25%（H24） 等

【主要事業】自然再生事業：豊川下流地区（愛知県豊橋市等） 等



三河湾の干潟

IV. 魅力あふれ賑わいと活気ある地域づくり

- ① 人・モノ・情報の交流を拡大・活発化
- ② 都市機能の高度化とともに、中山間地・農山漁村の地域力を向上
- ③ 独自の地域資源を活用し、観光など地域の魅力を向上

〔事例〕

【指標】規格の高い道路を使う割合：17.7%（H19）→現状の約1割増（H24） 等

【主要事業】伊豆縦貫自動車道（一般国道1号東駿河湾環状道路、一般国道414号天城北道路、

河津下田道路（I期）（静岡県）一部H21年度完成 等



伊豆縦貫自動車道

V. 誰もが生き生きと快適に暮らす愛着がもてる地域づくり

- ① 子供が安全に成長でき、ユビキタス社会に対応した快適・安全な生活圏の実現を目指す
- ② 安全で住みやすい居住環境の実現を目指す
- ③ 誇りや愛着を持てる協働・参加型の地域づくりを支援

〔事例〕

【指標】歩いていける身近なみどりのネットワーク率：58%（H19）→約60%（H24） 等

【主要事業】東静岡地区新都市拠点整備事業（静岡県静岡市）H24年度完成 等

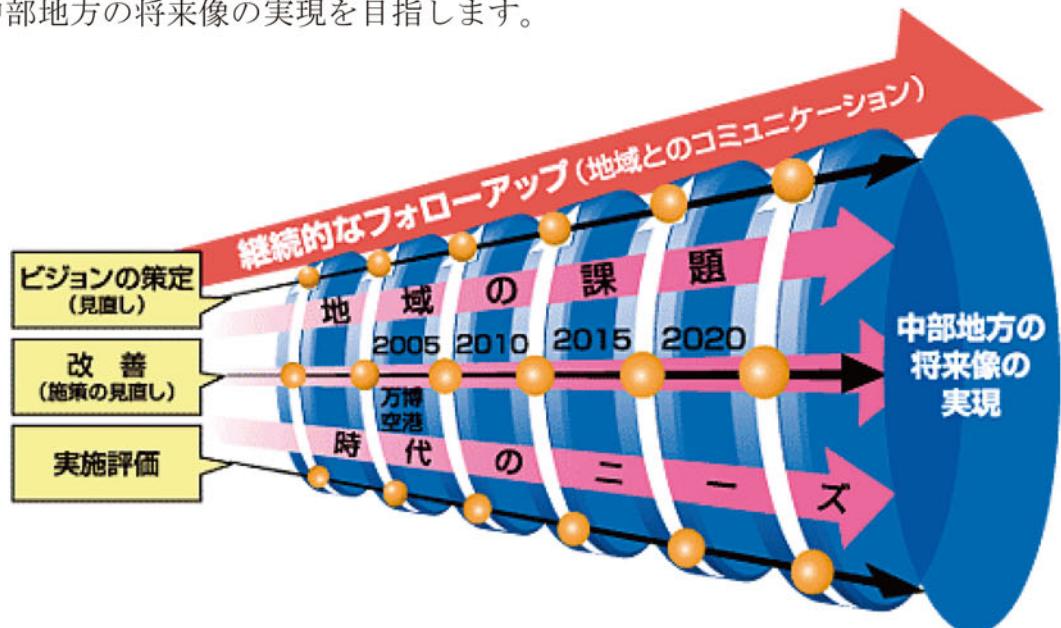


東静岡地区新都市拠点整備

◆不断のフォローアップ

「新まんなかビジョン」は、地域の人々とのコミュニケーションを基本にアウトカム指標や意識調査により、時代のニーズや地域の課題を常に把握しながら、内容の改善、評価、見直しを柔軟に行い進化させていきます。

その過程を通じて、地域の求める社会資本の重点的・優先的な整備を図り、中部地方の将来像の実現を目指します。



国土交通広域連携中部会議フォローアップ会議

(県)

長野県 企画部長、建設部長
岐阜県 総合企画部長、県土整備部長
静岡県 企画部長、建設部長
愛知県 知事政策局長、建設部長
三重県 政策部長、県土整備部長

(政令市)

名古屋市 総務局長、住宅都市局長、
緑政土木局長
静岡市 経営企画局長、都市局長、
建設局長
浜松市 企画部長、都市計画部長、
土木部長

(経済団体)

(社)中部経済連合会 常務理事
(社)静岡商工会議所連合会 専務理事・事務局長
愛知県商工会議所連合会 企画振興部長
(社)岐阜県経済同友会 専務理事
三重県商工会連合会 常務理事
(社)長野商工会議所連合会 常務理事

(国の地方支分部局)

中部地方整備局 総務部長、企画部長、建政部長、
河川部長、道路部長、港湾空港部長
中部運輸局 企画観光部長、交通環境部長
大阪航空局 空港部長
第四管区海上保安本部 交通部長

[事務局]

国土交通省中部地方整備局企画部企画課

〒460-8514

愛知県名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館

TEL:052-953-8127 FAX:052-953-8294

新まんなかビジョンホームページ:

<http://www.cbr.mlit.go.jp/mannaka/index.html>